

オーラプテンを高含有する ハッサク果皮抽出物の開発

オーラプテンとは？

ハッサク、河内晩柑、甘夏などの果皮に含まれるクマリン誘導体。発がん抑制や認知症予防効果に関する研究が多く報告されており、近年は、東洋大学が血管内皮細胞の熱ダメージを減少させる効果を発見し、特許取得（特許6557893号）。

工業技術センターの取組み

工業技術センターでは、株式会社和環（紀の川市）と共同でオーラプテンを高含有するハッサク果皮抽出物の製造技術を開発しました（特許出願中）。

また、ハッサク果皮抽出物を添加した加工品が、「ご当地の魅力、再発見！『がんばろう！わかやまフェア』」（イオンモール和歌山）にて、株式会社和環から販売されました（右写真）。



※本研究開発は、ハッサクプロジェクト及び「知」の集積と活用の中 研究開発プラットフォームの一環で実施しています。



機能性成分であるオーラプテンを軸に生産、加工、流通・販売までの一貫モデルを開発

◎参画メンバー

東洋大学、凸版印刷株式会社、株式会社和環、工業技術センター、紀の川市、紀陽銀行



★農林水産省 産官学連携事業【「知」の集積と活用の中

「熱中症予防対策商品による地域産業創出」研究開発プラットフォーム